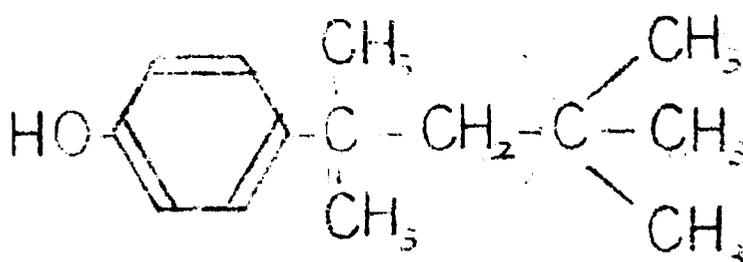


パラオクチルフェノールの分解度試験成績報告書

- 1 試験期間 昭和51年8月5日～昭和51年12月1日
- 2 試料名 パラオクチルフェノール(試料No K-247)
- 分子式  $C_{14}H_{22}O$
- 構造式



- 性状 融点 80.5～81.5℃
- 沸点 276.0℃
- 純度 94.0～95.0% (他は異性体のオクチルフェノール)
- 溶解性 水に不溶 (提示資料による)

3. 試験方法及び条件

環保業第5号 }  
薬発第615号 } 微生物等による化学物質の分解度試験による  
49基局第392号 }

3.1 試験装置

酸素消費量自動測定機

3.2 酸素消費量測定

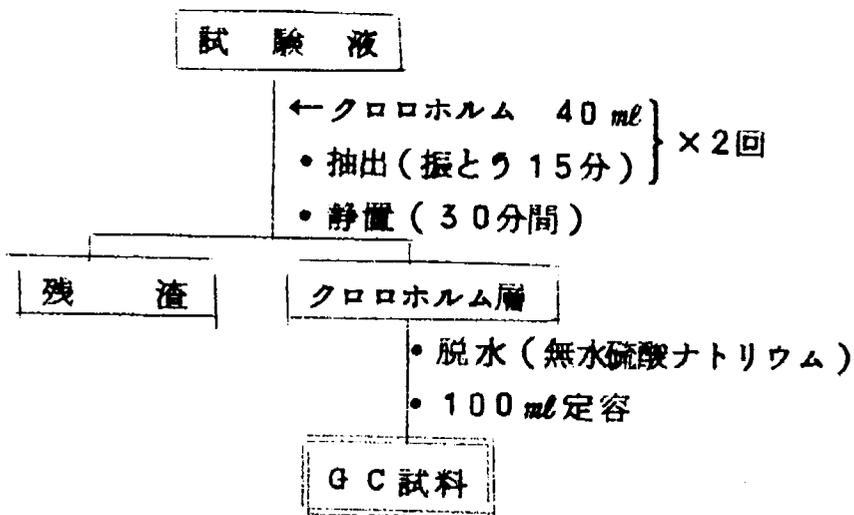
3.1の記録による

3.3 生分解試験後の直接定量法

(a) 使用分析機器

ガスクロマトグラフ 検出器 FID

(b) 分析試料の前処理



(c) 分析条件

ガスクロマトグラフ (GC) 検出器 FID

キャリアガス  $N_2$

充てん剤 5% DEGS + 1%  $H_3PO_4$  / セライト 545

ガラスカラム 2 mm $\phi$  × 1 m

カラム温度 148  $^{\circ}C$

4. 試験結果

	分解度(%)	付 図	付 表
酸素消費量による結果	0	1	—
GC による結果	※(-)	2	1

※ 負の値を得たので(-)とした。

5. 備 考

供試物質はクローメーター仕込時は液面に浮かんでいたが、14日後の取出し時は水系、汚泥系共に液中に分散していた。

以 上